

令和 6 年度
東京都がん対策推進協議会
第 1 回がんとの共生部会
会 議 録

令和 6 年 1 0 月 1 7 日
東京都保健医療局

(午後 6時00分 開会)

○田村医療連携・歯科担当課長 お待たせいたしました。ただいまより、東京都がん対策推進協議会第1回がんとの共生部会を開会いたします。

私は今年度よりがん対策を所管してございます、医療政策部医療連携・歯科担当課長の田村でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

初めに、WEB会議に当たりまして、委員の皆様には2点お願いがございます。

1点目が議事録作成のため、必ずご所属とお名前をおっしゃってからご発言いただきますよう、お願いいたします。

2点目は、ご発言いただくとき以外はマイクをミュートにさせていただきますよう、お願いいたします。

なお、本日の会議は、後日資料及び議事録を公開させていただく予定でありますので、よろしくお願いいたします。

それでは開会に当たりまして、医療政策担当部長の岩井より、一言ご挨拶申し上げます。

○岩井医療政策担当部長 皆様、こんばんは。東京都保健医療局医療政策担当部長の岩井でございます。

本日は大変お忙しい中、本会議に出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

がんとの共生部会は、前期までの計画推進部会と病院機能部会を再編し、新たに設置された部会としておりまして、相談支援や情報提供、患者・家族支援など幅広い内容を取り扱ってまいります。

本日は、来年2月にリニューアルを予定しております東京都がんポータルサイトについて、また、本年度より新たに実施いたします東京都がんピアサポーター研修についてを主な議題としております。

委員の皆様には忌憚のないご意見やご助言を頂戴できればと存じますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

○田村医療連携・歯科担当課長 ありがとうございます。

まず初めに、本日の会議資料でございますが、委員の皆様には事前にデータにて送付いたしてございます。次第に記載のとおり、資料1から資料4までと、参考資料1から3までとなります。

次に、本日ご出席の委員のご紹介をさせていただきます。

がんとの共生部会は、今回初めての開催となりますので、委員の皆様をご紹介させていただきます。お名前をお呼びいたしましたら、一言ご挨拶いただければと思います。

それでは資料2-2をご覧ください。名簿の上段からご紹介いたします。

まず初めに、静岡社会健康医学大学院大学、社会健康医学研究科教授、高山委員でございます。

○高山委員 皆さんこんばんは。静岡社会健康医学大学院大学の高山と申します。前職は

国立がん研究センターで、本日の話題にもなっております、がん情報サービス、情報の発信、相談支援について扱ってまいりました。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

○田村医療連携・歯科担当課長 ありがとうございます。

続きまして、地方独立行政法人東京都立病院機構教育・研究推進センター顧問の本田委員でございます。

○本田委員 東京都立病院機構の研究推進センターの本田です。前職は都立小児総合医療センターの院長をやっており、東京都小児がん診療連携協議会にも携わっておりましたので、今回このような形で参加させていただいております。よろしくお願いいたします。

○田村医療連携・歯科担当課長 ありがとうございます。

続きまして、国立国際医療研究センター、乳腺・腫瘍内科診療科長の清水委員でございます。

○清水委員 皆さん、こんばんは。国立国際医療研究センターの乳腺・腫瘍内科の清水と申します。主にがんと共生の分野では、AYA世代のがんといったところで、国の研究班の活動などをさせていただいております。何かお役に立てればと思っております。よろしくお願いいたします。

○田村医療連携・歯科担当課長 ありがとうございます。

続きまして、聖路加国際病院相談支援センター、アシスタントナースマネージャーの橋本委員でございます。

○橋本委員 皆さん、こんばんは。聖路加国際病院の橋本です。いつもお世話になってます。

がん専門相談員という相談支援センターの実践の立場でもあり、AYAサバイバーシップセンターにも携わっておりますので、現場の視点から何かお手伝いできればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○田村医療連携・歯科担当課長 ありがとうございます。

続きまして、関係団体代表より、公益社団法人東京都医師会理事の鳥居委員でございます。

○鳥居委員 東京都医師会の鳥居でございます。よろしくお願いいたします。

疾病対策の担当理事をしております。よろしくお願いいたします。

○田村医療連携・歯科担当課長 ありがとうございます。

続きまして、公益社団法人東京都看護協会の横山委員でございます。

○横山委員 皆さん、こんばんは。東京都看護協会、横山でございます。よろしくお願いいたします。

○田村医療連携・歯科担当課長 ありがとうございます。

続きまして、国家公務員共済組合連合会虎の門病院院長補佐、血液内科部長の内田委員でございます。

○内田委員 虎の門病院の内田です。血液診療を主にやっておりますけれども、白血病や

リンパ腫などでは、患者さんも治癒して長期生存される方がすごく増えてきており、共生する期間が非常に長くなってきておりますので、何かお役に立てればと思っております。どうぞよろしくお願いします。

○田村医療連携・歯科担当課長　ありがとうございます。

続きまして、患者代表より、若年性がん患者団体 S T A N D　U P！！共同発起人の鈴木委員でございます。

○鈴木委員　皆さん、こんにちは。鈴木と申します。

私自身が24歳のときに乳がんになって、今回、若年性がん患者団体 S T A N D　U P！！共同発起人という立場で呼んでいただいております。こちらは、今から約15年前に立ち上げた、若くしてがんになった人、AYA世代のがん患者のための団体です。その他、マギーズ東京というがん患者さんやご家族が無料でご利用いただけるセンターを運営しています。どうぞよろしくお願いします。

○田村医療連携・歯科担当課長　ありがとうございます。

続きまして、関係行政機関より、文京区保健衛生部長兼保健所長の矢内委員でございます。

○矢内委員　文京区の矢内でございます。特別区保健衛生主管部長会からの推薦の委員になります。行政の立場で住民の方へのがん情報の発信であったり、がん検診の受診率・精度向上であったり、がん患者さんの支援という立場で出席させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○田村医療連携・歯科担当課長　ありがとうございます。

続きまして、あきる野市健康福祉部長の山田委員でございます。

音声聞き取りづらいのですが、難しそうですね。マイクはミュートになっていないようですが、音声が入らないようです。すみませんが、次に進ませていただきます。

続きまして、日の出町いきいき健康課長の小澤委員でございます。

○小澤委員　ただいまご紹介いただきました、日の出町いきいき健康課長の小澤でございます。町村推薦で参加させていただいております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○田村医療連携・歯科担当課長　ありがとうございます。

続きまして、オブザーバーのご紹介をさせていただきます。

本部会のメインの議題になります、東京都がんポータルサイトのリニューアルの検討等につきまして、ご知見を賜りたく存じてございます。東京都保健医療局総務部広報担当課長、田村オブザーバーでございます。

○田村オブザーバー　東京都で広報の担当をしております田村と申します。

○田村医療連携・歯科担当課長　ありがとうございます。

皆様より忌憚のないご意見を賜りたく、どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、部会長を選任いたします。

資料の1、東京都がん対策推進協議会設置要綱をご覧ください。

こちらの2ページ目の第8の2におきまして、部会長は座長の指名により選任するとしてございます。

事前に東京都がん対策推進協議会座長より、静岡社会健康医学大学院大学、社会健康医学研究科教授の高山委員を部会長に指名するという事で、事務局で伺ってございます。高山委員、よろしいでございましょうか。

○高山部会長 はい、よろしく願いいたします。ご指名いただきました高山です。僭越ではございますが、こちらのがんとの共生部会の座長ということで、一生懸命やらせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

この部会で取り扱うことは、先ほど説明がありましたように非常に幅広くて、かつ一番患者さんに近いところで支援、応援をするということになっていくと思います。そして、東京都さんはすごく頑張ってくださっていると思いますので、この部会でも盛り上げていきたいと思っておりますので、忌憚のない活発なご議論をお願いできればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○田村医療連携・歯科担当課長 ありがとうございます。以降の進行につきましては、高山委員にお願いいたします。

○高山部会長 はい、ここからは私が進行を務めさせていただきます。

議事に入る前に、がんとの共生部会について、今回初めて開催となります。そこで、本部会で検討する事項について確認させていただければと思います。それでは事務局からご説明をお願いいたします。

○田村医療連携・歯科担当課長 では、事務局よりご説明させていただきます。

まずは参考資料の1をご覧ください。

こちらは東京都がん対策推進計画第三次改定の全体像を示したものになってございます。本部会では、この中の分野Ⅰ、Ⅱ、Ⅲありますけれども、Ⅲ、がんとの共生にあります相談支援の充実、情報提供の充実、社会的な問題への対応、ライフステージに応じた患者・家族支援を取り扱っていきます。また、分野共通項目としまして、Ⅳとして、基盤整備につきましても、がんとの共生分野に関連する内容について、本部会で取り扱ってまいります。

事務局からの説明は以上になります。

○高山部会長 はい、ありがとうございます。

それでは議事に入っていきたいと思えます。議事1の東京都がんポータルサイトのリニューアルについて、事務局から説明をお願いいたします。

○田村医療連携・歯科担当課長 それでは、事務局よりご説明させていただきます。

資料3をご覧ください。

初めに、東京都がんポータルサイトのリニューアルの概要についてご説明いたします。

都では、今年度、東京都がんポータルサイトにおける効果的な情報発信と利便性向上のため、サイトの再構築を行う予定としてございます。リニューアル時期は令和7年2

月を予定してございます。

主な内容としましては、現在、保健医療局のサーバー上にあるサイトを外部サーバーへ移行することで、デザイン、レイアウト等の調整を可能とし、より見やすいサイトといたします。また、検索機能やチャットボット等の機能を追加していきます。加えて、都内がん診療連携拠点病院等の外部ユーザーに編集権限を付与することで、イベント情報等の周知を強化する予定でございます。併せて、サイト内のコンテンツの整理を行い、がんポータルサイトを利用する方々が必要とする情報を提供してまいります。

以上ががんポータルサイトの主なリニューアル内容になりますが、サイト内のコンテンツの整理につきましては、各ワーキンググループでの検討を踏まえまして、第2回がんとの共生部会で取り扱ってまいります。

今回は、赤枠にありますレイアウトや機能面等のサイト設計に関する項目について検討をしていきたいと思っております。

なお、リニューアルに合わせまして、サイトの認知度向上のためにも広報を併せて実施する予定でございます。また、リニューアルまでに2回程度ユーザーテストの実施を予定してございまして、ユーザーテストでのご意見も踏まえながら、リニューアル作業を進めていく予定でございます。

スライド3ページ目からは、東京都がんポータルサイトの現状と課題に関する内容となります。順番にご説明いたします。

一つ目は、東京都がんポータルサイト自体の認知度が低い点でございます。二つ目が、サイトの構成が見づらく、見たいページをなかなか探し出すことができない。また、スマートフォンの画面で見ると、文字が小さく見づらいといった視認性が不十分な点でございます。

スライド4ページ目に移りまして、三つ目が、検索機能が十分に機能しておらず、検索機能の改善が必要な点でございます。現サイトでは、保健医療局のホームページの中での横断検索となっておりますので、がんポータルサイト以外の情報も検索情報の結果に反映されるという欠点がございます。

四つ目が、情報が古い、欲しい情報がないなど、記載情報の見直しが必要な点でございます。

五つ目が、患者団体の活動内容やイベント等に関する効果的かつ速やかな情報発信や、東京都がん対策推進計画第三次改定において、東京都がん診療連携協議会と連携した情報発信が求められているなど、関係機関と連携した情報発信を強化していく必要があるというところになります。

続いて、スライド5ページ目ですが、協議会やパブリックコメント等でいただいたご意見などから抜粋して掲載してございますので、後ほどご参照いただければと思います。

これらの現状を踏まえまして、リニューアルの方向性をスライド6ページのとおりを示してございます。お示ししております方向性のうち、デザイン、サイトマップ等の見

直し、新サイトの機能の充実化につきましては、本日の検討事項として後ほどご説明させていただきます。

また、普及啓発の強化、掲載情報の整理につきましては、現在、普及啓発動画の作成や、各ワーキンググループにおきまして、掲載内容の見直し・追加等の検討を行っておりますので、これらの内容を踏まえまして、第2回がんとの共生部会において検討を行う予定でございます。

次のスライド7ページ目からは、東京都がんポータルサイトのリニューアルの具体的な内容に移りますが、ここから先は実務担当より説明をさせていただきます。

内容が非常に盛りだくさんになってございますので、まず次の「1. 新サイトにおける機能追加（案）」で、一度質疑応答の時間を設けたいと考えてございます。その後、「3. 新サイトのワイヤーフレーム（案）」でもう一度質疑応答の時間を設けまして、その後、最後まで説明した後に、リニューアル全体に関わる質疑応答の時間を設けたいと考えてございます。

では、実務担当より説明をいたします。

○事務局 日頃よりがんとの共生部会の運営につきまして、ご協力賜り感謝申し上げます。

私は医療政策部医療政策課、がん対策担当の貴島と申します。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

それでは「1. 新サイトにおける追加機能（案）」について、ご説明いたします。

新サイトにおける追加機能は、お示しのとおり九つございます。一つ目は、絞り込み検索等を可能にしたWEBデータベースを連携とした、検索機能を追加していきます。二つ目は、ルールベース型チャットボット機能を追加していきます。三つ目、四つ目は、がんに関する統計情報を可視化できるよう、ダッシュボード、レポート機能の追加や、地図上でのレイヤー機能を導入いたします。五つ目は、事前にメールアドレスを登録することでイベント情報が更新されるたびに通知が届く機能を追加いたします。六つ目は、お知らせ情報を患者・家族向け、医療関係者向けによるアイコンを設けまして、判別できるように表示いたします。七つ目は、柔軟な編集やタイムリーな情報更新が可能となるよう、拠点病院や患者団体等の外部関係者に関連するページの編集権限を付与いたします。八つ目は、患者さんやピアサポート等の情報を発信するためのプラットフォームとして、医療機関専用ページを設置いたします。最後の九つ目は、掲載情報の共有や普及啓発を目的としてSNSシェアボタンを導入いたします。

新サイトにおける追加機能のご説明は以上となります。

○高山部会長 はい、ご説明ありがとうございました。

まず、本日は東京都がんポータルサイトのリニューアルについて、概要をご説明いただきました。今後の方針と方向性、新サイトの追加機能について説明いただきました。この内容につきまして、ご意見、ご質問ありましたら、挙手をお願いいたします。

また、具体的には第2回以降ということですが、本日はレイアウト、機能面、サイト

設計について議論していくことになるかと思います。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

○高山部会長 皆さんが考えている間に、私のほうから一つ質問させていただいてよろしいでしょうか。

7番ですね。管理者アカウントの権限設定ということで、医療関係者あるいは患者団体等に、この権限を付与するというご説明があり、迅速に情報発信できるようになっていいなと思いますが、権限を付与する範囲というのはどのように決めていくのか、今の想定があれば教えていただければと思います。いかがでしょうか。皆様のイメージにもなってくるかと思うので。

○事務局 事務局でございます。

こちらの権限の付与につきましては、後ほど、病院ページについてご説明させていただきますが、その病院ページを更新する際に、拠点病院等に編集権限を付与することを考えております。また、患者団体の情報につきましても、患者団体にて更新できるような形で検討していきたいと考えております。

○高山部会長 ありがとうございます。

そうすると、今回は拠点病院側や患者団体側に編集権限を付与ということになるかと思いますが、ポータルサイトをもっともっと使ってほしいという点は、これまで協議会等でも注目度が高かった内容かと思います。実際に関わっていく立場からということで、患者団体の鈴木委員より、もし何かお気づきのことがありましたら、コメントをいただけますでしょうか。

○鈴木委員 ありがとうございます。

まず、権限を付与する患者団体等についてですが、患者団体も様々あって、精査が必要ではないかと思います。患者会と名乗りながら特定の医療方法を勧めていることがあったりもしますので、患者会なら何でもいいというわけではないと思います。ですので、なかなか難しい部分かと思いますが、東京都として発信してもいいものをきちんと精査していただきたいというのが1点目です。

また、この東京都がんポータルサイトのリニューアルで大切なことは、「知ってもらうこと」と「使いやすいこと」の二つが柱になると思っております。まず、知ってもらうために、患者も含めたがん経験者や医療者等が発信する、発信しやすいということはすごく大事だと思います。その上でこのSNSのシェアボタンというのはとても大事な取組ですが、よく行政のホームページ等でありがちなのが、SNSのシェアボタンをつけて終わりという点で、シェアボタンを押してシェアしたところで、サムネイルがすごく大きな文字で表示されてタイトルがよく見えず、サムネイルが少しバグっているように映ってしまうということです。シェアした時の見やすさも含めて設計していただきたいです。

そして、たくさん盛り込みたく気持ちはよく分かりますが、とにかく見やすくしてほ

しいです。特に治療中はたくさんの情報があり過ぎると、それだけで疲れてしまって読めませんので、とにかく見やすく、分かりやすく情報にたどり着くということを重視していただきたいです。検索すれば詳しい情報もあるけれども、表層ではシンプルというのを心がけていただけたらありがたいなと思いました。

○高山部会長 はい、ありがとうございます。知ってもらおうと使いやすいということで、どっちも大事なところかと思います。これに関して事務局のほうで、精査というお話もありましたが、その辺りの対応方法とか、逆にこちらの委員会とか部会とか、そのほかのサポートが必要ということがあったら、その辺りもぜひ言っていただいてもいいかなというふうに思っていますが、いかがでしょうか。

○事務局 事務局でございます。ご意見等いただき、ありがとうございます。

まず前半のお話にありました、掲載情報の適切性の担保の部分についてですが、現在想定しておりますのが、患者団体や病院の方で掲載情報の更新をした際に、必ず都のほうでチェックをした上で、公開するという手順を踏みたいと考えております。

また、権限を付与する範囲につきましても、基本的には現在患者団体として掲載をしている団体に限定する形で想定しておりますので、そのような二重のチェックにより、適切性の担保をしていきたいと考えております。

後半のお話につきましても、現在業者とシステム構築について調整しておりまして、先ほどのお話にもありましたような発信する際に使いやすく、かつシンプルという点につきましても、今後業者と調整していきたいと思っております。

○高山部会長 はい、ありがとうございます。

○鈴木委員 ありがとうございます。

○高山部会長 ほかいかがでしょうか。では、内田委員、お願いいたします。

○内田委員 すみません、今のお話に関連しますが、管理者アカウントの設定で拠点病院という表現がありましたが、それは東京都がん診療連携拠点病院のことを指すのでしょうか。それとも、ほかにもがんに関係する拠点病院と名のつくものはいっぱいあって、小児がん拠点病院だったり、がんゲノム拠点病院だったり、あと我々の施設ですと造血細胞移植の拠点病院だったりいろいろありますが、例えば血液がんの患者さんが拠点病院と聞くと自分たちが関係する拠点病院を想定するので、東京都がん診療連携拠点病院という名称に馴染みがなかったりするのですが、その点をどのように理解したらよろしいでしょうか。

○事務局 事務局でございます。現在検討している範囲としましては、いわゆる国拠点と言われている病院と、都拠点病院、都協力病院、小児がん拠点病院に限定させていただきたいと思っております。

それ以外の病院ももちろんありますが、それらの情報につきましては、権限付与とは別に、都の方で適切に管理するということで情報整理をしていきたいと考えております。

○内田委員 分かりました。ありがとうございます。

○高山部会長 はい、ありがとうございます。この点についても、都の方で適切に管理していくことになるかと思います。

あと、もうお一人くらいご質問を受けられればと思いますが、いかがでしょうか。

では本田委員、お願いします。

○本田委員 東京都立病院の本田です。

東京都小児がん診療連携協議会で、例えば、研修会であったり市民公開講座であったりいろいろやっているのですが、現在そういった情報は載っていないですね。新しい情報は全然掲載されていないかと思います。ですので、東京都小児がん診療連携協議会についても管理者権限を付与して編集できる形を取っていただいたほうがいいかなと思っています。新しい情報が全然載っていないというのが現状かと思いますので、拠点病院だけではなくて、協議会そのものも新しい情報を載せていく必要があるかと思いますが、その辺はいかがでしょうか。

○高山部会長 事務局のほうで答え等はございますでしょうか。

○事務局 事務局でございます。貴重なご意見をありがとうございます。

おっしゃるとおりでして、協議会関係の情報につきまして、小児の協議会もそうですし、成人の協議会もそうですが、がんポータルサイト上で情報更新がされていないという状況がございます。

こちらにつきましては、今現在、成人と小児の事務局と調整をしており、協議会のページにつきましても事務局に権限を付与しまして、できるだけ情報更新をしやすいしていきたいというふうに考えております。

○本田委員 はい、どうもありがとうございます。

○高山部会長 はい、ありがとうございます。このポータルサイトをいかにたくさんよく使っていくかというところではすごく大事なところかなと思います。

では、清水委員、お願いいたします。

○清水委員 ありがとうございます。

ポータルサイトのリニューアルに関連して、今までどんな人がアクセスしているのかとか、そういうアクセス解析みたいなことはされているのかどうかということと、今回リニューアルに伴って、どういう形でそのリニューアルの効果を図っていくのかという、その2点をお伺いできればと思います。

○高山部会長 では、事務局のほうでもしご回答できることがあれば、お願いいたします。

○事務局 事務局でございます。

まず一点目のポータルサイトにアクセスしている対象者ですが、この後ご説明する話の中でも触れさせていただくところですが、アクセス解析をしておりますと、内容を見てみますと、誰がというところまでは特定はできないところですが、患者・家族の方と医療従事者の方、満遍なくご覧になっているのかなという印象を受けております。

続いて、二点目の効果の部分ですが、リニューアル後のポータルサイトのアクセス数

等について継続的に確認していきたいと思っております。

また、それ以外の効果検証につきましても、必要性を精査しながら検討していきたいと思っております。

○清水委員 ありがとうございます。そのユーザーによって求めている情報が若干違うというところがあって、後半の話にもつながるかもしれませんが、ポータルサイトの構造をつくる時に誰向けの情報なのかを、見える化していただけるといいなと思います。入口を分けるとか、検討いただけるといいのかなというふうに思いました。

○高山部会長 ありがとうございます。では、後半の話にもつながるということでしたので、先に進められればと思います。

それでは、事務局から続きの説明をお願いいたします。

○事務局 続きまして、資料 8 ページの「2、新サイトのサイトマップ（案）」についてご説明をいたします。

新サイトのサイトマップを検討するに当たり、先ほど申し上げました現状の課題に加えて、現行のポータルサイトの構成やアクセス数等の観点から課題を把握するために、流入分析を行っておりますので、この分析結果を踏まえまして、サイトマップ等の設計を行いたいと考えております。

参考資料 2 のほうをご覧ください。参考資料 2 では、スライド 2 ページから 4 ページにかけて、東京都がんポータルサイトと類似のウェブサイトにおけるレイアウトを掲載しております。

また、スライドの 5 ページでは、少し古い情報にはなりますが、令和 3 年度に係る 1 年間の東京都がんポータルサイトのアクセス状況を掲載しております。

これらの他サイトとの比較やアクセス数から傾向を分析し、スライド 6 のとおり、東京都がんポータルサイトの課題を抽出いたしました。

1 点目は、コンテンツの階層が深く、階層の奥に進まないとたどり着けないコンテンツがある点です。例えば東京都の計画や協議会の会議録などが挙げられます。

2 点目は、病院検索機能がない点です。現状はリンクをたどって自分で探してもらう仕様になっております。

3 点目は、患者・家族向け、医療関係者向けの入り口が分かりづらい点です。

4 点目は、情報が整理されておらず、コンテンツの優先度が分かりづらい点です。

一方で、他サイトの傾向としましては、明確にトップページでエリア分けし、必要な情報に誘導している。検索機能を充実させ、様々な軸、条件から情報の絞り込みを可能にしている。ユーザー別、目的別に階層が整理され、回遊しやすいサイト設計という傾向がうかがえます。

これらを基に、スライド 7 ページでは、新サイトのサイトマップの設計方針を立てております。

1 点目は、利用者が迷わず利用できるよう、理解しやすい階層構造にしていきます。

2点目は、カテゴリーやコンテンツの名称を分かりやすくし、目的のコンテンツにたどり着きやすいサイトマップにしていきます。

3点目は、ユーザーごとの入り口を明確にしたコンテンツ設計にしていきます。

4点目は、アクセス数の多いコンテンツを低階層化し、たどり着きやすくしていきます。

最後の5点目は、サイトの構成をシンプルにしていくとともに、ユーザーの行動を踏まえた柔軟なナビゲーションを組み立てていきます。

この新サイトの設計方針を踏まえまして、スライド8ページでは、リニューアル後のサイトマップ全体像をお示ししております。中央にございます各カテゴリーを軸としまして、患者・家族向け、医療従事者向けの入り口も別に設け、そこから各ユーザーに即したカテゴリーにアクセスできるように設計いたします。

それではまた資料3に戻りまして、スライド8ページをご覧ください。

こちらでは改修前のサイトマップについて、課題を抽出しております。カテゴリーの項目に順序の規則性がない。類似項目に並列している。掲載内容が重複している。情報の種類に一貫性がなく、目で追って探さなければならない。予防検診の項目についてペイシェントジャーニーから外れているなどが見受けられます。

これらの課題を踏まえまして、スライド9ページでは改修後のサイトマップ（案）をお示ししております。

改修後は、項目の順序を分かりやすく整列し、ペイシェントジャーニーを踏まえて構成を整理し、情報の種類に即してカテゴリーを分類し、目的別にアクセスできるように入り口を整理し、階層が深い情報を浅い階層へ配置し直してアクセスしやすくしていきます。

また、改修後の整理されたサイトマップを維持できるよう、毎年情報が追加されるコンテンツについてはコラムにまとめ、適切なカテゴリーを付与することで、関連する情報として表示されるよう構築していきます。

続きまして、スライド10ページ、3、新サイトのワイヤーフレーム（案）についてご説明いたします。

左側が改修前のレイアウトとなっておりますが、ヘッダー部分に関しましては、横断検索のため、がんポータルサイト以外の情報もヒットしてしまい、検索性が悪い点や、ヘッダーからポータルサイト内のコンテンツに直接アクセスできない点が課題となっております。また、中央のコンテンツページも、利用者ごとの動線がない点や、情報量が多く、コンテンツの優先度が分かりづらい点が課題となっております。

それらの点を改善するために、右側の改修後のレイアウトでは、ヘッダーからポータルサイト内の検索を可能とし、カテゴリー別のメニューを設けまして、ポータルサイト内のコンテンツへ網羅的にアクセスできるようにしていきます。また、メインビジュアル上に利用者別の動線を確保し、情報にアクセスしやすくしていきます。

さらに、視覚的にも分かりやすくするために、サイト全体の構成をシンプルで分かりやすいレイアウトとするとともに、サイトに訪れた際にスクロールせずに見られるファーストビューで、全てのコンテンツに行き着くように設定していきます。

このスライドではフレームだけですので、少し分かりづらいかと思いますが、この後の話の中でトップページのデザイン（案）も出てきますので、併せてご確認くださいと思います。

また、主要コンテンツエリアにつきまして、複数のパターンをご用意いたしましたので、パターンをお見せしながらご説明させていただきたいと思っております。

参考資料3をご覧ください。今回ワイヤーフレーム（案）につきまして、三つをご用意させていただきました。

初めに、案1になりますが、利用者の関心のあるコンテンツにアクセスしやすいように構成をしております。赤枠で囲まれた部分につきまして、先ほどのアクセス数で上位のコンテンツや電話等でお問合せが多い内容につきまして、カテゴリーに分けて表示する形式にしております。メリット、デメリットにつきましては、記載のとおりとなります。多くの方が関心のある注目コンテンツに最短でアクセスできる利点を考慮し、事務局（案）としております。

なお、黄色の枠で囲まれた部分ですが、これから申し上げます案2、案3と共通になりますが、「患者さん・ご家族の方へ」「医療従事者の方へ」に属さない「計画・協議会等」、がんコラムにつきまして、主要コンテンツエリア下層のほうで掲載することを予定しております。

続きまして、スライド3ページから案2となります。

案2ではペイシェントジャーニーに即した構成としております。メリット、デメリットにつきましては、記載のとおりでございます。赤枠に囲まれた部分につきまして、ペイシェントジャーニーに合わせて流れるような構成になっております。

最後に、スライド5ページからは、案3となります。

案3は案2同様、ペイシェントジャーニーに即した構成としておりますが、項目ごとに主要コンテンツを直下に配置し、直接アクセスできるような構成となっております。メリット、デメリットにつきましては、記載のとおりとなります。赤枠に囲まれた部分をご覧のとおり、最も長いページ構成となっておりますが、トップページからアクセスできる情報量も多くなっております。

新サイトにおけるワイヤーフレーム（案）のご説明は以上となります。ここで質疑応答のため、説明を区切らせていただきます。

○高山部会長　ただいま流入分析と新サイトの案等のご説明がございました。ここまでの内容について、ご意見・ご質問がありましたら、挙手ボタンで手を挙げていただき、ご所属・お名前を仰っていただいて、ご発言いただければと思います。いかがでしょうか。

かなり盛りだくさんでいろんな案が出ておりますので、ご意見も難しいところもある

かもしれません。実際にがんの情報になると、これまでも恐らくそうだったと思いますが、あれも必要これも必要ということで、情報がどんどん増えていきがちで、情報が充実していくことは大事ではありますが、どこに配置するかによって見えにくくなる、かえって行き届きにくくなるみたいなどころがあるようにも思います。

また、このポータルサイトを使ってもらおうということが何より大事だと思いますので、今回、入り口を患者さんご家族向け・医療者向けのように変えるというお話もありましたが、医療者も使っていけるようにする、行政の方も使っていけるようにするというのを考えると、自分たちにとっても使いやすいかどうか、ということも一つのポイントになるかもしれません。そのようなご意見もいただけると、このサイトの活性化や充実化につながりますので、そういった観点からもぜひご意見をいただければと思います。

せっかくですので、行政の方からもご意見をぜひいただければと思いますが、矢内委員、いかがでしょうか。

○矢内委員 ありがとうございます。こういうサイトにアクセスする方が、実際には自分のことについて知りたいということがとても多いように思うので、ペイシェントジャーニーに即した案2、案3の方が、構成が分かりやすくていいなと思うものの、案3はページがすごく長くなるのではないかとこののを懸念しております。

何を知りたいのかということがきちんと分かっている方であればよいのですが、何が知りたいか分からないけれども、とにかく自分が知りたい情報を見つけないという方も使えるようなサイトになるといいなと思うと、案2が比較的私は見やすいページ構成のような気がいたしました。

○高山部会長 ありがとうございます。こういったご自身の直感とか感覚とか、これまでのご経験を踏まえての視点というのも、これからのサイトづくりにすごく重要だと思います。それでは、矢内委員に引き続きご意見等をお伺いできたらと思いますが、山田委員はお声の方は出そうでしょうか。

○山田委員 聞こえますでしょうか。

○高山部会長 聞こえます。

○山田委員 すみません。先ほどは大変失礼いたしました。あきる野市の山田でございます。自治体のホームページに、こういったポータルサイトのリンクを張っているところがほとんどだと思います。あきる野市においても、東京都がんポータルサイトにリンクを張ってご案内するようにしておりますので、ご説明にあったような改善は、我々としても非常に喜ばしいことと感じております。

その一方で、一点気にしていることとしまして、ホームページを見る際は、パソコンで見る方もいらっしゃいますけれども、最近はスマートフォンで見る方も多いかと思います。市から情報発信する際もそういった視点を大事にしておりますが、スマートフォンで見たときも、このような掲載のされ方をするのかというところが気になりました。スマートフォン上でのページが長いと、なかなか情報にアクセスできない点がございま

すので、そういったところに留意していただければいいのかなと感じております。

○高山部会長 ありがとうございます。それでは、この点について事務局から、もし想定がありましたら教えていただけますでしょうか。

○事務局 事務局でございます。ご意見をいただきまして、ありがとうございます。最近ではスマートフォンから見られる方も大変多くいらっしゃるというところもありますので、スマートフォン上の画面表示につきましても検討しているところになります。

後ほどトップページ（案）でお示しする際に、スマートフォン画面のイメージ（案）をお示しさせていただきますが、おっしゃるとおり、表示画面が長くなってしまいますとスクロールするのが大変になってしまうという欠点がありますので、できるだけスクロールせずにアクセスできるような構成にしていきたいと考えております。また、後ほど資料にてご説明できればと思っております。

○高山部会長 ありがとうございます。

続いて、鈴木委員から手が挙がりましたので、鈴木委員、お願いいたします。

○鈴木委員 はい、ありがとうございます。

まず案１、２、３については、私も案２か３がいいなと思っております。案１ですとサイト全体の構成がとても読みづらいので、自分が関心あるコンテンツ、読みたいコンテンツにたどり着くのはちょっと難しいのかなと思います。パッと見て、これが読みたいというのがあればいいんですけれども、そうでない場合は案２、３のほうが分かりやすいと思いました。そして案３だと少し長くなり過ぎるということもあって、案２がいい塩梅なのかなと思いながら見ておりました。

また、この案１、２、３の話ではないのですが、東京都保健医療局のページ下にがんポータルサイトが配置されている関係上、パソコン上で見ても、携帯上で見ても、画面が少し狭まって見えてしまうのはすごくもったいないと感じております。字も小さく見えてしまいますので、なるべく全画面で表示して、イラストや写真をもう少しふんだんに使って、文字だけが並ばないような形にしていいただけると、より見やすくなるのかなと思いました。

○高山部会長 ありがとうございます。恐らく冒頭の方で説明があったと思いますが、保健医療局内のページではなくて、外部サイトに置くということで、画面表示については改善が見られそうということでよろしいでしょうか。事務局のほうで説明を足していただけますか。

○事務局 事務局でございます。

大きく二つのお話があったかと思いますが、まずポータルサイトの構成については、案２、３が良いというお話になるかと思いますが、今後ユーザーテスト等も実施いたしますので、そこでの結果を踏まえましてリバイスしていく予定ですが、いただいたご意見につきましても、ぜひ参考にさせていただきたいと思っております。

２点目につきましては、資料冒頭でもご説明があったかと思いますが、外部サイトに

完全に移行するという形となりますので、保健医療局のホームページではなくなり、独立したサイトになります。その中でサイトの構成を再構築させていただきたいと考えておりますので、画面が狭まってしまうという点については解消できるかと思います。

○鈴木委員 ありがとうございます。その点が解消できて全画面になって、文字も大きくなって、絵もイラストも入れば、それだけで大分見やすく改善されるのではないかなというふうに思いました。

○高山部会長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

ちなみに、数年前のお話になりますが、がん情報サービスでも、7割ぐらいはスマートフォン等から閲覧されているという状況になってきており、若い層や忙しい層ほどスマートフォンが主流になってくるかと思いますが、スマートフォンでいかに見やすく探しやすいしていくかという点は大事になってきていると思います。

また、私も、案2、3がすごくシンプルで見やすいかなと思う一方で、本日は行政の方も入られておりますが、がんになりこれから治療をされる方に、予防とか検診の話が入ると、精神的に少し辛く感じてしまう方も中にはいらっしゃるかと思います。

「自分が検診を受けていなかったから、がんになってしまったんだ」みたいに、責めるつもりはないけれども、辛い思いをさせてしまうということになりかねないので、配置を工夫する等といったことは必要になるかとは思いますが。その辺りのサイトの見せ方についてはぜひ、当事者の方もたくさんいらっしゃいますので、みなさんの意見を踏まえながら、最大限見やすくて届くようなものになればいいなと思っています。

ほかはいかがでしょう。せつくなのでご意見をいただければと思いますが、相談員の立場から、橋本委員、いかがでしょうか。

○橋本委員 ありがとうございます。

まだここまでの内容の整理ができていないところはありますが、見やすさという意味では、私も案2、案3のほうが見やすいのかなと思って聞いておりました。

また、患者さんと一緒にこのようなサイトを見ることもあります。例えば、国立がん研究センターのがん情報サービスであったり、患者さんの住んでいる地域でどのような制度等があるのかを探す際には、その方が住んでいる自治体のホームページからこんな制度がありそう等の情報提供を行ったり、患者会はどんなところがありますかといった相談があったりすると、東京都のポータルサイトで整理されているページを紹介することがあったりします。

出典元が東京都のポータルサイトですと安心して使えますし、相談の場面では実際に使うケースがありますので、見やすくなることで情報にアクセスしやすくなるというのと、患者さんの入口と医療者の入口について、何が同じで何が違うのかということがまだ想像できなくて、もう少しご説明や皆様のお話を聞いてから何かご意見ができればと思って聞いておりました。

○高山部会長 ありがとうございます。後半の説明を聞いたら、もう少しイメージがわい

てくるかもしれないですね。

それでは、今回のポータルサイトの再構築では、拠点病院以外の方の医療者も利用していただきたいということで、鳥居委員、もしご意見をいただけるようでしたらお願いいたします。

○鳥居委員 東京都医師会の鳥居でございます。ありがとうございます。

東京都医師会には東京都病院協会という病院が中心の部分と、もう一つ、かかりつけ医がありまして、退院後の多くはかかりつけ医につながることをなると思います。多くの患者さんは、治療後、かかりつけ医で診てもらうことが多いですので、地域におけるがん医療の情報を見やすい形で作っていただけると、我々も協力できるのではないかと考えております。多くの患者さんは、最終的にはお家で過ごすという形になると思いますので、その辺りの情報を提供していただければと考えております。

○高山部会長 貴重なご意見をありがとうございます。この辺りについての計画や想定がもしあれば、事務局のほうでご説明いただければと思いますが、いかがでしょうか。

○事務局 事務局でございます。

貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございます。おっしゃっていただいた内容につきましては、今まさに、各ワーキンググループでコンテンツの検討を進めているところであります。特に、緩和ケアや在宅医療に関する内容については、大幅な見直しが必要になってくるコンテンツと考えておりますので、ワーキンググループ等での検討を踏まえまして、こちらのがんとの共生部会の第2回でご説明できればと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

○高山部会長 はい、ありがとうございます。地域につなげていくために非常に貴重な情報だと思いますので、第2回の部会で皆様からご意見いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

そうしましたら、続いて、横山委員、いかがでしょうか。

○横山委員 ありがとうございます。

看護協会でも広報についてはいろいろと工夫しないといけないことがたくさんあるなと考えておりますが、やはりスマートフォンが中心であることと、お示しいただいた案につきましては皆さんと意見が一緒で、案2か3がいいかなと考えておりました。私ももう少し詳しく聞いてから意見が出せばいいなと考えております。

○高山部会長 ありがとうございます。それでは、小澤委員、いかがでしょうか。

○小澤委員 日の出町の小澤でございます。先ほどのお話にもございましたとおり、ポータルサイトを通じた情報提供を広げていく中で、センシティブな部分に触れることによって、せっかくのサイトが悪いものになってしまう、そういったところを懸念しております。掲載する内容の線引きについて、どう進めていくかの旗振りも含めていただければいいのかなと感じたところでございます。私からは以上でございます。

○高山部会長 ありがとうございます。事務局の方からは何か補足等ありますでしょうか。

○事務局 事務局でございます。貴重なご意見をありがとうございます。

先ほどのお話にもありました、掲載する情報やコンテンツの並び方の部分で、ある方にとっては気に障ってしまうような、そういうコンテンツにならないように配慮したいと思っております。先ほど冒頭のほうで、2回ユーザーテストを実施しますとお伝えさせていただいておりますが、このユーザーテストの対象者としましては、医療関係者もそうですし、患者団体の方もそうですし、いろんな方を交えて検証していきたいと思っておりますので、そこでのご意見を一つ一つ酌み取った内容にしていきたいと考えております。

○高山部会長 ありがとうございます。

それでは、続きの説明を伺ってから、また皆さんからご意見を賜れればと思います。

事務局のほうからご説明をお願いいたします。

○事務局 それでは資料3に戻りまして、スライド11ページをご覧ください。

「3、新サイトのトップページ（案）」についてご説明いたします。改修前と改修後のイメージにつきまして、比較する形でお示ししております。

トップページの改修の主なポイントとしましては、下枠に記載のとおりとなります。

改修後につきましては、がんに対する不安を抱える利用者に安心感を与える配色やデザイン、文字の大きさや配色等によるコンテンツの強弱やアイコンやイラストを有効に活用し、視覚的に情報を整理しやすくするような工夫、分かりやすいレイアウトにより、利用者が必要とする情報にアクセスできるようにしていきます。

なお、トップページにつきましても複数のパターンを用意いたしましたので、パターンをお見せしながらご説明いたします。

参考資料3のスライド7ページをご覧ください。

トップページ（案）につきましても三つご用意させていただいております。

初めに、案1となります。先ほどの資料3でお示ししたデザイン（案）となっておりますが、人々の暮らしのイラストを背景に、水色を基調とした柔らかい印象を与えるデザインとなっております。また、利用者別の入り口としてイメージ写真を大きめに配置し、視覚的にも分かりやすく配置しております。

また、右側はスマートフォン等から見た画面となります。現行のポータルサイトのスマートフォンの画面では、上から下まで項目がずらりと並んでおり、何度もスクロールしなければならない構成でしたが、改修後は右上のメニューまたは利用者別の入り口から、スクロールなしでアクセスできるようにしていきます。このように利用者に易しい構成としている案1を事務局（案）としております。

次のスライド8ページでは、スライド7ページの続きのデザイン（案）を表示しております。

こちらでは、先ほどご説明いたしましたワイヤーフレームの構成を踏まえまして、写真やイラストなどを活用し、視覚的に分かりやすく表示していきます。

続きまして、スライド9ページをご覧ください。

新サイトの顔となるメインビジュアルのみとなりますが、案2、案3を表示しております。先ほどの案1と比べますと、メインビジュアルに当たるイメージ写真を大きめに配置している点が特徴となります。また、案2では、患者さん・ご家族の方をメインに、案3では、医療従事者の方をメインに配置しており、利用者別の入り口は別にアイコンを設けるような構成としております。

以上、三つの案をご提示させていただきましたが、色合いやメインビジュアルといった要素を掛け合わせることによって、ポータルサイト全体の印象も大きく変わるかと思えます。東京都がんポータルサイトに限らず、類似のウェブサイト等を利用する中で、今回のリニューアルに生かしてほしい点等がございましたら、ご意見をいただきたく存じます。

それでは資料3に戻ります。スライド12ページをご覧ください。

続きまして、「5、新サイトの検索機能（案）」についてご説明いたします。

改修前の病院検索ページを表示しておりますが、検索機能はなくリスト形式であり、絞り込み機能もないため、病院を探す際は病院ページを一つ一つ個別に確認して、該当の病院であるかを探し出さなければなりません。また、リストの抽出項目につきましても、「病院を探す」の項目からたどる場合、医療圏を選択範囲としており、市区町村別で探し出すことができない欠点や、「病院の周囲を探す」の項目では、がん診療連携拠点病院等の区分がございますが、一般の方はなじみのない用語のため、区分の再設定が必要だと考えております。

そこで、改修後の検索機能につきまして、スライド13ページでお示ししております。

改修後は検索機能を設け、「エリアを探す」「がんの対応領域を探す」の二つの検索軸からタブを切り替えて検索することが可能になります。エリアから探す場合は、区市町村別による絞り込み検索やスマートフォン等で位置情報が把握できる場合、現在地からの距離での検索が可能になります。がんの対応領域で探す場合は、がんの種類、がんの治療方法相談方法の三つの項目が検索でき、複数条件での検索も可能になります。

検索結果画面につきましては右の図のとおりとなりますが、この画面から検索条件の再設定も可能になります。

続きまして、14ページでは、病院ページのイメージをお示ししております。

病院ページにつきましては、基本情報とがん診療情報のタブを切り替える形式としており、本ページは基本情報を表示しております。掲載項目につきましては後ほどご説明いたしますが、病院概要のほかに、がん相談・支援体制の情報や、医療関係者向けの参考リンク先を併せて掲載することを予定しております。

続きまして、スライドの15ページでは、がんの診療情報の表示イメージをお示ししております。こちらに掲載項目は後ほどご説明いたしますが、アコーディオン開閉により情報を見やすく整理しております。

それでは、病院ページに掲載予定の項目についてご説明いたします。参考資料3のスライド10ページをご覧ください。

病院ページにつきましては、成人と小児で掲載項目が若干異なっております。

初めに、成人からご説明いたします。

10ページから14ページまでが成人の病院ページの表示イメージとなります。掲載情報は青枠に記載されている内容を予定しております。病院概要の掲載情報につきましては、こちらを予定しております。

続きまして、がん相談・支援概要の掲載情報につきましては、こちらを予定しております。

最後に、医療関係者の方の掲載情報につきましては、こちらを予定しております。

各掲載情報は、医療機関側の作成の負担を考慮し、原則としまして、がん診療連携拠点病院の指定更新のために国や都へ報告する現況報告書の情報から抽出することを予定しております。ただし、報告書にない一部の項目につきましては、別途調査を行う予定です。

なお、11ページでご紹介いたしました医療関係者の方への項目につきましては、地域の医療機関も本ポータルサイトをご活用されていることを踏まえまして、患者さんのご紹介方法、連携医療機関、登録医制度のご案内を外部リンクにて掲載することを予定しております。

こちらは診療情報の掲載情報となりますが、こちらにつきましても現況報告書の情報を抽出する予定でございます。

下のほうにつきましては、専門外来の掲載情報と治療内容の掲載項目となります。こちらでも現況報告書の情報を抽出する予定です。

続きまして、スライド15ページ以降は小児の病院ページとなっております。基本的なページ構成は成人と同様、現況報告書の情報をベースとしつつ、別途の調査により一部情報を追加する予定です。

小児の病院概要掲載情報につきましては、こちらを予定しております。

小児のがん相談・支援概要掲載情報につきましては、こちらを予定しております。

医療関係者への掲載情報につきましては、こちらを予定しております。

がんの診療情報の掲載内容につきましては、こちらを予定しております。また、治療内容の検査項目につきましては、こちらを予定しております。

お示しのとおり、成人と対応領域が異なっている点や現況報告書の調査項目が異なっている点を考慮し、16ページのがん相談・支援概要と17ページの診療情報の掲載内容につきましては、小児の病院ページ上に構成しております。

新サイトにおける検索機能のご説明は以上となります。

○高山部会長　ご説明ありがとうございました。病院情報の部分は本当に盛りだくさんの情報で、現況報告で集計している情報も盛りだくさんで、それらの情報をどうやって活

用していくのかというところがまた難しい問題で、どう使いこなすかということも非常に大変なところかと思っています。

また、これらの情報を正しく収集し続けることも必要になってくるので、どう示すかというだけではなくて、どう維持していくかという点も非常に難しく、大変なところかと思っています。

皆さんからご意見やご質問がありましたら、挙手ボタンでご発言いただければと思いますが、いかがでしょうか。それでは、清水委員、お願いいたします。

○清水委員 少し細かい話になってしまいますが、病院探しをしている患者さんにとって、いろいろな支援に関して、院内でできるのか、それとも関係機関と連携して対応されるのかというのは重要な情報だと思っております。例えば、病院内で妊孕性温存治療ができる・できないによって、二つの病院に行かなくちゃいけないのか、同じ病院で済むのかという違いになるので、病院選びの参考になるのではと思っております。もしかすると再調査が必要になってくるのかかもしれませんが、「連携施設への紹介によって行っている」という項目を分けて表示いただけると、患者さんにとっては利用しやすい情報になるのではないかと思います。現況報告ですと、連携施設への紹介も含めての対応となるため、どの病院も「はい」と答えるので、なかなか区別が付きにくいものになってしまうんじゃないかと思いました。

○高山部会長 貴重なご意見をありがとうございます。この点については、追加で調査する項目もありましたので、もしかしたらその中に加えるような対応になりますでしょうか。事務局はいかがでしょう。

○事務局 ありがとうございます。事務局でございます。貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございます。

おっしゃるとおり、病院の中で完結するということも一つ大事なポイントかなと思っておりまして、そういった情報につきましても、調査の中に一緒に含めることによって抽出することは可能かと思っておりますので、ぜひ調査項目の中に加えさせていただきたいと思っております。ありがとうございます。

○高山部会長 こうして情報を充実していただけると、この中から自分で探してたどり着くという方ももちろんいらっしゃると思いますが、相談員のような相談を受ける立場の方が、いかにうまく活用できるかという観点も重要なことだと感じておりますが、橋本委員、いかがでしょうか。これをどう使いこなせそうか、また、こんなものがあったら助かるとか、もしそういったご意見がありましたら、ぜひお願いいたします。

○橋本委員 ありがとうございます。今、ご説明を聞いた第1印象としまして、これはすごく使いやすくなるというのが、まず素直な気持ちでした。今まで病院情報については、病院のページを一つ一つ開いていかないと分からなかったり、病院のホームページを開いて、問い合わせ先や受診方法等いろいろ調べてやっていたことが、ポータルサイトのページに紐づいていくことは、非常にありがたいなと思って聞いておりました。

また、先ほどの説明とは違う話になってしまうかもしれませんが、制度のことについて患者さんから聞かれることが多くありまして、例えば、この区であればアピアランス等の助成制度があるとか、育児や介護のことについても患者さんからよく聞かれる内容ですので、先ほどの妊孕性温存のこともそうですが、様々な制度について、その自治体のホームページを開いて、たどり着きにくいこともあったりするので、うまくアクセスできるようなページを作ってくれたりしますと、非常に見やすく使いやすいなと思ったところです。

○高山部会長 貴重なご意見をありがとうございます。確かにそうですね。制度の対応状況であったり問合せ窓口であったり、これらの情報提供について、東京都ポータルサイトの存在がとても重要な意味合いをもってくると感じております。

そうすると、検索がもう一個増えるということですかね。そうした対応が今からできそうなのかどうなのか。いきなりの質問となりますが、事務局はいかがでしょう。

○事務局 事務局でございます。貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございます。

今回のリニューアルの仕様の部分にも関わってくるかと思いますが、できる内容とできない内容がありますので、持ち帰って検討させていただければと思います。その一方で、少なくとも構成の部分につきまして、現状ですとアピアランスや若年がん患者療養支援事業のページについて、そこに行き着くまでにすごく時間がかかってしまうという課題もありますので、その点に関しましては、できるだけ上位の階層に配置したり、コンテンツの中身についても、例えば窓口一覧の表を掲載するなど、そういったものを駆使しながら、情報を整理していきたいと思っていますので、そういった意味での情報アクセス性の改善というのは図れるかと考えております。

○高山部会長 ありがとうございます。先ほどのお話の中で、区や市町のホームページにもつながっていくというお話がありましたが、自治体の立場から矢内委員いかがでしょうか。

○矢内委員 はい、矢内です。ありがとうございます。

特に異論はないのですが、情報量が非常に多いということが分かりまして、これだけ整理をしていただいても、望む情報であったり、望むサービスにたどり着くのは難しいのかなと感じました。

私どもの区でも、がん患者さん向けに、昨年度、がん患者さんの使えるサービス資源マップというものを作りまして、好評いただいているところではありますが、地図上で探せるとか何か探しやすくする工夫も必要なので、情報を探しやすくしたり使いやすくする具体的な方法について考えていただければと思います。

加えて、一点気になったのが、水色を基調としている点について、落ち着く色でいいんですけども、少し寂しい感じがいたしました。また、病院検索のページについて、グレーの背景に病院の名前が白字で書いてあり、見にくい感じがいたしました。やはり、背景色であったり、字体であったり、字と背景の色とのバランスも大事ですので、気を

遣って考えていただければと思っております。よろしくお願いいたします。

○高山部会長　ありがとうございます。色合いも非常に大事ですね。それに、いかにこのポータルサイトを使いやすくするかという観点も大事になってくるかと思います。

それでは、お手が挙がっております、横山委員、お願いいたします。

○横山委員　ありがとうございます。

先ほど事務局から、表などを使って分かりやすくとおっしゃっておりましたので、いいなと思って聞いておりましたが、成人用と小児用の病院検索が一覧になっていて、その病院で何ができるのかが一覧になっていて、そこからそれぞれのホームページに飛んだり、いろいろな情報が拾えると、すごく簡単に探せるようになるのかなと感じました。

スマートフォンでそういった表を使いこなすことは難しいかもしれませんが、先日、私の区の検診の一覧表が来たときに、ここでは何ができるというのを表形式で書いてあり、大変分かりやすく、一見見ただけですぐ分かったので、そういうイメージだったらすごくいいなと思いました。

○高山部会長　ありがとうございます。集めた後に情報の整理が必要かもしれませんね。

その結果が、見やすく選択しやすくなることにつながるのかなと感じました。

それでは、鈴木委員、お願いいたします。

○鈴木委員　ありがとうございます。

まず、病院検索についてですが、がん相談支援センターをご紹介することが私自身も多いのですが、例えば、がん情報サービスにもがん相談支援センターの概要は載っておりますが電話番号が探しにくいので、がん相談支援センターの電話番号が掲載されている一覧であったり、連絡先が分かるホームページのリンクであったり、がん相談支援センターの連絡先が代表番号ではない場合が多いと思いますので、分かりやすくまとめたいただけるとありがたいなと感じました。

また、今表示されているページで、電話番号やホームページのURLが掲載されておりますが、いちいち打ち込まないといけない仕様になっていることが行政のページですとすごく多いですが、タップすることで電話をかけたりホームページに飛べる仕様にしていただけたらすると、ありがたいなと思いました。

最後に、メインビジュアルについてですが、温かみがあると説明をいただいておりますが、私もあまり温かみを感じられないところがありまして、大変申し上げづらいんですけども、色味なのか、もらい物っぽい画像のせいなのか、もう少し温かみを出していただけるとよいなという印象で、少し冷たい感じを受けてしまいました。以上です。

○高山部会長　ありがとうございます。

では、お手が挙がっております、鳥居委員、お願いいたします。

○鳥居委員　東京都医師会の鳥居です。

色々とお話を聞きまして、非常に参考になりました。かかりつけ医もこれを見てご紹介

介したりすることが多いと思いますので、便利な機能がたくさん出ていると思います。

一方で少し気になったのは、先ほどのトップページの件ですが、よく考えてつくられていて、色も青色をベースにしているところも気持ちは落ち着くのですが、確かに寒色系ということで少し冷たい印象もあるかと思います。また、もう一点、案2に出ている、ご家族がたくさんいて非常に明るい雰囲気の写真の部分ですが、実は今こういう家族はほとんどないのですよね。一人暮らしや二人暮らしの方が大半で、そういった方の中からがんになられてしまうことが多いと思いますので、これを見ると、考え過ぎかもしれませんが、少し寂しくなってしまうような印象を受けておりますので、もう少し違ったほうがいいのかとちょっと感じました。みんなで一緒に立ち向かう雰囲気はあるのですが、現実的にはそういうことは少ないものですから、少し気になったので発言させていただきました。

○高山部会長 貴重なご意見をありがとうございます。

そうしましたら、一通りご意見を伺ってから、事務局にお返しできればと思います。

それでは、本田委員、お願いいたします。

○本田委員 本田です。ありがとうございます。

今までホームページに入ると、こういう情報はPDFでダウンロードしないと見られない形になっておりましたので、今回見やすくしていただいたのは非常にいいことだと思います。

お伺いしたいのは、小児ページでは、従来PDFで患者数等の情報をダウンロードできたと思いますが、その辺りは今後どういう形になるのかというのが一点目になります。

それから、先ほどのお話にもありました、例えばがん相談支援センターについて、これまでPDFで一覧をできたかと思いますが、今後は病院ごとのページで表示される形に変わってしまうのか、それともどこかのページでその一覧が見やすい形となって残るのか、そういった今後のコンテンツの在り方について少し分からない部分がありましたので、質問させていただきたいと思います。

○高山部会長 ありがとうございます。

ここで一度、事務局からご説明いただいてから、またご意見等いただければと思います。色合いや画像といった部分の変更可能かですとか、相談支援センターについて分かりやすく検索できるよう一覧を表示するといったことが可能かどうか、出ておりました。それから、本田委員からは、これまで掲載されていた病院の情報について、どんなふうに変化していくのか、そのまま残るのかといったお話があったかと思いますが、いかがでしょうか。

○事務局 事務局でございます。貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございます。

いただいた内容について、大きく3点に分けられると思っておりますので、それぞれご説明させていただきたいと思います。

まず、先ほどのお話の中で多く話題に挙がっていたデザインの部分になりますが、皆

様から様々なご意見をいただいている状況を踏まえまして、業者と調整をしていきたいと思っております。おっしゃるとおり、水色をベースにしてしまうと、逆に寂しい印象を受けてしまうということも十分あるかなと思っておりますので、今後の改修に役立たせていただきたいと思っております。

続きまして、がん相談支援センター等の情報の見せ方の部分になりますが、こちらにつきましても、がん相談支援センターのページ等で、一覧のような形で整理したいと考えております。今、想定しておりますのが、各病院ページで掲載する情報を引用して、例えば、がん相談支援センターのページで病院の連絡先を一覧化して表示するといった形で構成をしていけると一番いいのかなと思っておりますので、そのような形で、皆様に分かりやすく連絡先等にアクセスしやすくしていきたいと思っております。

最後に、本田委員からご意見をいただきました、小児の情報につきまして、現在、患者数等の情報も含まれているものが掲載されておりますが、この点につきましては、成人の領域にも関わってきますが、役割分担をしていきたいと考えております。今回この病院ページにつきましては、例えば患者さんであったり相談支援をされる方々が連絡先を確認したり各病院で行っている治療を確認したりするなど、病院を調べる際の概要情報を病院ページに掲載するという形を予定しており、例えばその患者数であったり、いわゆるQ Iに当たるような診療に係る数値的な情報につきましては、例えば、各協議会のページの中で、そのようなページを設けるような形で、詳細な情報を掲載できるといいのかなと思っているところでございます。

雑駁ではありますが、このような形で想定しております。よろしくお願いいたします。

○高山部会長 ここまでのお話について大丈夫でしょうか。一通りご説明いただきましたが、よろしいでしょうか。

○事務局 すみません。少々お待ちいただいても、よろしいですか。

今、カメラを共有させていただいているところですが、オブザーバー参加の、田村オブザーバーよりご意見があるということで、画面のほうを切り替えさせていただきます。

○高山部会長 よろしく願いいたします。

○田村オブザーバー 先生方、貴重なご意見をありがとうございました。

東京都でいろいろなポータルサイトをつくっていく中で、このポータルサイトと共通する課題として2点あります。

まず1点目が、東京都がんポータルサイトと検索すると、最初に出てくるのはトップページなので、トップページをいかに魅力あるものにするか、または知りたい情報が見られるか、離脱しないかという点が大切だと思います。先ほどのビュー数でも一番多いのはトップページなので、トップページから必要な情報にたどり着けるかが一番大事だと思います。

その中で気になったのが、トップビューについてですが、業者さんの方で作成されているのだと思いますが、今回お示しいただいたトップページ案はおそらくフリー素材を

使っており、病院のスタッフであればまだ良いかもしれませんが、患者さんの方は敏感で、これは拾い絵だなということがすぐに分かってしまうので、非常に嘘くさくなってしまうのですよね。ですので、私たちが疾病などに関するポータルサイトをつくる際は、誰にでも受け入れられるような色合いやイラストを使うことが多いと思っておりますので、その点をご検討いただければと思っております。

続いて2点目として、情報の足し算・引き算がとても大事で、私たちはいろんな情報を全部盛り込みたくなりがちですが、恐らくこのページを利用される方は、このページだけを見て全て解決しようとは思ってはならず、東京都の信頼できる情報を見つつ、他のいろいろなサイトを見られている方が印象としては多いので、情報を整理して、例えば、東京都の取組やがんの計画については行政のページに残しておいて、見る方にとって必要なページだけに情報を絞って掲載していく形の方が、見やすいページになるのかなと思っております。

その一方で、何かニーズがあるとページが増えていたり、こういうことも大事だよねといって今後増えていく可能性もあるので、最初の段階から項目が増えても大丈夫な構成にしておくということも大事なのかなと思っております。

最後に追加でもう1点、サイトの構成のお話の中で、アクセス数が上位に来るものを中心に表示するといったお話がありましたが、アクセス数だけだと、実はアクセスできるページまでたどり着いても、そこから知りたい情報に行けていないという場合もあるので、流入分析をするときは、どういう検索ワードでどういう年代が閲覧しているのかを見ていただくと、非常によいのではないかなと思っておりますので、併せてお願いできればと思っております。

そういう意味では、どうしても情報を多くしてしまうと、リンク切れの問題であったり、永続的にページを管理していくことは非常に大変になっていくので、どこまで情報を整理して載せていくかという点について、将来的にも魅力あるページにするためには大事なかなと思っておりますし、他サイトのよりよい情報に誘導できるのであれば、他の力も借りながら、リンク等も活用しながら東京都の情報として見せていくというのがいいのではないかなと思っております。

○高山部会長 専門家ならではのご意見をありがとうございます。

一旦、山田委員のご意見を伺ってから、事務局のほうでよろしいでしょうか。

それでは、山田委員、お待たせいたしました。お願いいたします。

○山田委員 あきる野市の山田です。

実用性の観点からになりますが、病院検索の画面ですが、スマートフォンだと多分拡大して見やすくなると思いますが、これを例えばプリントアウトしたときに、この参考資料3のような文字の大きさですと、少し読めない部分もありますので、プリントアウトした後のことも考えて、フォントサイズが小さい部分については、ぜひ改善したほうがよいのではと思ひまして意見とさせていただきます。

以上です。

○高山部会長 非常に具体的なご意見をありがとうございます。

それでは、事務局から、よろしければお願いいたします。

○事務局 事務局です。貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございます。

皆様からたくさんのご意見をいただいている部分になりますが、まずサイトのイラストやデザインにつきましては、業者と調整をしながら、よりよいものを作っていきたいと思っております。特に、こちらは行政のホームページになりますので、皆さんに安心感や信頼感を与えるというところを意識しまして、情報がきちんと伝わるような、そういった構成やデザインにしていきたいと考えております。

また、山田委員からご意見いただきました文字の大きさの部分につきましても、スマートフォン等の端末による見え方の違いであったり、あるいは、プリントアウトした後文字の大きさだったりという点につきましても、見やすくないと意味がありませんので、そういった部分にも配慮した構成にしていきたいと思っております。

○高山部会長 ありがとうございます。

それでは、時間が押しているようですので、第2回でもサイトのお話があるということでしたので、もう一つの議題に進めさせていただければと思います。

ピアサポーター養成研修について、事務局よりご説明をお願いいたします。

○田村医療連携・歯科担当課長 それでは、資料4の東京都がんピアサポーター養成研修についてです。

本事業は、都内のがん診療連携拠点病院等でのピアサポートの推進及びピアサポーターの質の担保の観点から、今年度より新規で実施する事業となります。

事業内容について、順にご説明いたします。

初めに、研修の企画・検討になります。

業務の中心となる研修プログラムの作成では、今年度より研修を実施する基本プログラムの作成と、令和7年度より研修を実施予定のAYA世代支援プログラムに係る研修プログラムの研修資材の作成を行ってまいります。

また、検討会を設置し、作成した研修プログラムや研修資材について、外部委員との意見を踏まえまして、研修プログラムや研修資材を完成させていきます。

続いて、研修の実施です。実施主体は都となりますが、東京都駒込病院へ委託により実施してまいります。研修規模は年3回を予定しており、区部で2回、市部で1回の開催を予定してございます。研修の対象者は、都内でピアサポーターとして活動を予定しているがん経験者等としてございます。

研修内容につきましては、今年度研修を実施するのは基本プログラムのみとなりますので、ピアサポートに関する基礎的な講義やロールプレイング形式での演習を行う予定としてございます。

最後にスケジュールとなります。現在研修の企画検討を進めてございまして、12月

から2月にかけて研修を実施する予定でございます。募集案内につきましては、東京都がんポータルサイト及び各がん診療連携拠点病院等を通じて周知を行う予定です。また、研修修了者については、各がん診療連携拠点病院等への情報提供を予定してございます。研修修了者に関する情報提供の方法については、第2回がんとの共生部会で取り扱う予定でございます。

東京都がんピアサポート養成研修に関する説明は以上になります。

○高山部会長 ありがとうございます。ただいま、事務局より、東京都がんピアサポーター養成研修についての説明がございました。この内容につきまして、ご意見・ご質問等がございましたら、挙手ボタンでお願いいたします。

橋本委員、お願いいたします。

○橋本委員 聖路加国際病院の橋本です。

一点教えてください。対象者について、各診療連携拠点病院で今後サポーターとして活動を予定しているといった場合、病院側から推薦書のような、そういったことが必要になるのでしょうか。それとも、あくまでも参加するご本人の意向で手を挙げるものなのか、教えていただければと思います。

○高山部会長 それでは、事務局のほうからご説明いただいてもよろしいでしょうか。

○事務局 事務局でございます。

ご質問いただきました研修対象者ですが、基本的には自ら参加いただく形を想定しております。ただ、募集する際は、東京都がんポータルサイトであったり、あるいは、患者サロンで活動されているような方々も、ピアサポーターに興味がある方もいらっしゃるかと思いますので、周知については、各拠点病院の皆様にもご協力をお願いしたいと考えております。

○高山部会長 はい、ありがとうございます。

内田委員からお手が挙がっています。内田委員、お願いいたします。

○内田委員 よろしく申し上げます。ちょっと知らないもので教えていただきたいのですが、このピアサポーターというのは、今、こういった形の資格になりますでしょうか。将来的には、病院内で一定のポジションを得られるようなことが想定されているのか、それとも、今はどちらかというとボランティアのような位置づけかなと思いましたが、その辺りを教えていただければと思います。お願いします。

○高山部会長 それでは、事務局からご説明いただいてもよろしいでしょうか。

○事務局 事務局でございます。ご質問ありがとうございます。

ピアサポートにつきましては、おっしゃるとおり、現状ですとボランティアとして活動されている方が多いと思っております。立場上、資格職であるとか、そういった形での対応ではありませんので、基本的には、各拠点病院等においてご協力・ご支援いただいているという形にはなると思います。ただし、今般の国の計画や都の計画でもそうですが、ピアサポーターの活用の推進というところもありますので、ピアサポーターとし

て活動したいという思いのある方と一緒にがん相談支援を支えていくという意味で、本事業がそのお役立ちができればと考えているところです。

○内田委員 ありがとうございます。

○高山部会長 それでは、鳥居委員、お願いいたします。

○鳥居委員 東京都医師会の鳥居でございます。

先ほど、ピアサポーターの資格の話が出ておりましたが、「ピアサポーター」という言葉は恐らく英語だと思いますが、我々でも初めて聞いた言葉なので、一般の方にはなかなか分からないような気がします。例えば、日本語で括弧書きか何かされていると、もう少し分かりやすくなると思いますが、日本語では何を意味するのでしょうか。

○高山部会長 そうですね。私も含め、あまり意識せずにピアサポーターと呼んでしまっておりましたが、事務局はいかがでしょうか。

○事務局 事務局でございます。

ピアサポーターという用語自体が分かりにくいといえますか、専門的な用語になっているかと思います。内容としましては、「共に助け合う仲間」という意味にはなりますが、確かに用語自体聞き慣れないというところもありますので、例えば、募集をする際のチラシ等で、どういった活動するかであるとか、分かりやすく説明する形での工夫はしていきたいなと考えております。

○鳥居委員 ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

○高山部会長 ありがとうございます。長くいるとなかなか気がつかないでいることですが、この事業を広めていくためには、非常に貴重なご意見だったと思いますので、その辺りもぜひ、この事業の紹介の中でもやっていければと思います。

それでは清水委員、お願いいたします。

○清水委員 ありがとうございます。

ピアサポーターとの協働ということが、がん拠点病院の要件の中に加わってきましたが、恐らく多くの拠点病院では、ピアサポーターがどこに誰がいるのかということ、把握するのが難しいのかなと思っております。ぜひ東京都として、このピアサポーターを育てられるのであれば、東京都で管理をしていただくような形で、拠点病院が必要になったときにマッチングをしていただいたり、私たちが必要なときに一緒に活動させていただけるような、つながりの支援についてお願いしたいというのが1点目です。

もう一点は、AYA世代のピアサポーターを養成されるということで、東京都は若い方の人口が多いのでありかなと思う一方で、AYA世代のピアサポーターを日中の病院が空いている時間帯に活動していただくというのは結構難しいことでもあります。働き方もいろいろなので、可能な方もいらっしゃるのかもしれませんが、ボランティアという形ではなく、手当を支給する、ですとか、何かインセンティブを検討いただきたいなと思いました。よろしくお願いいたします。

○高山部会長 ありがとうございます。ゆくゆくはみたいなことになるかもしれませんが、

もし想定していることがありましたら、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局　事務局でございます。貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございます。

初めに、マッチングのお話につきまして、こちらは今後検討していきたいと思っておりますが、情報提供の部分につきまして、第2回のがんとの共生部会の中でも触れるお話にはなるかと思いますが、先ほどのホームページの改修の機能の中で、医療機関の専用のページを設けるという形でご説明させていただいたことに関連して、例えば、ピアサポーターの研修を修了した方のリストをそのページの中で共有したり、そのページを通じて必要な情報にアクセスできるような、そういう仕組みができるといいのかなと、個人的な見解にはなりますが、現在の想定として考えているところでございます。この点については、改めて第2回のがんとの共生部会にて、ご検討させていただきたいと思っております。

続いて、ピアサポーターの手当やインセンティブの部分ですが、こちらにつきましては、都や国の補助金の中で運用が可能な部分がございまして、拠点病院向けの機能強化事業という補助金を行っております。各拠点病院が申請いただく必要はありますが、ピアサポーターの活用に係る経費についても補助する仕組みがありますので、その中で報償費や交通費としてご申請いただければ、手当に係る経費についても確保できるのかなと考えているところでございます。

○清水委員　知らなかったです。ありがとうございます。

○高山部会長　そうですね。活用できる制度について、拠点病院側でうまく活用していくということも大事なのかなと、今のお話を聞いて思いました。また、これから新しくなるポータルサイトの中で、医療者やピアサポーターがつながっていけるような仕組みについて、ご検討いただけるといいのかなと思いました。

ほかにご意見はございますでしょうか。

それでは、鈴木委員、お願いいたします。

○鈴木委員　S T A N D　U P！！の鈴木です。

ご参考までに、今、チャットにお送りさせていただきましたが、がんの社会課題を産官学、医療、患者、みんなで横断的に解決しようというC a n c e r Xという団体もやっております、その中で、がんになって迷子になるのを防ぐマップをつくろうというワークショップを実施し、それを参考にして、神奈川県が神奈川県版のマップを作成し配布しているという事例があります。

(https://www.pref.kanagawa.jp/documents/109556/01_bouganmap.pdf)

がんのポータルサイトをつくるのはいいのですが、それでもやっぱり迷子になってしまったり、そのリンクがなかなか見つからないという状況がある中で、1枚のチラシや紙でどこに何が載っているかがQ Rコードで読めるマップになっており、参考になるかなと思ってお送りさせていただきました。

○鈴木委員　これはたまたま神奈川県の方々が参加されていて、知事も含めて作りたいと

なって作られたものですが、それぞれのQRコードから神奈川県が作成されたホームページに飛べるようになっており、こんなツールがあると、ネット上でなかなか該当のページが見つけれない人にとって、見つけれきっかけになると思いました。自分で印刷して配付できるようになっている点も利点でして、ダウンロードして、こうした情報を知りたい人が知ってもらうきっかけになるかなと思って、情報共有させていただきました。

○高山部会長 貴重な情報をありがとうございます。実際の行政の取組ということで、非常に参考になることと思いました。

また、今回は普及啓発資材の作成というお話だったので、今回ご紹介いただいた内容も含め、事務局でご検討いただければと思いました。どうもありがとうございます。

ほかは、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

もしないようでしたら、ここで事務局へお返ししたいと思います。よろしいでしょうか。皆様、たくさんのご意見をありがとうございました。

それでは事務局にお返しさせていただきます。お願いいたします。

○田村医療連携・歯科担当課長 本日は活発なご意見をたくさん頂戴いたしまして、本当ありがとうございます。本日の議題についてさらにご意見等がございました場合には、来週の金曜日、10月25日までに、メール等で事務局までご連絡いただければ幸いです。また、本日会議終了後にメールでも併せてご連絡いたしますので、よろしくお願いいたします。

次回、第2回がんとの共生部会につきましては、12月16日、月曜日に開催をする予定としてございます。ご出席のほど、どうかよろしくお願いいたします。

事務局からは以上になります。

それでは、これにて第1回がんとの共生会を終了したいと思います。本日はどうもありがとうございました。

(午後 7時55分 閉会)